

在宅医療サポートセンター 「まちなか保健室」開設

在宅医療の拠点に!



医師会だより
Vol.16
2016.10.2

発行/（一社）大村市医師会
大村市協和町779番地
TEL 0957-54-0151
FAX 0957-54-3646
印刷：（株）つじ印刷

大村市医師会は、在宅医療介護に関する相談窓口として「在宅医療サポートセンター」を平成28年4月に開設いたしました

大村市での在宅医療を普及させるため、市民の皆さまの医療介護に関するあらゆる相談に対応できる拠点を目指して開設しました。別名を「まちなか保健室」と名付けました。これは全国でも珍しい試みです。

現在、ご本人やご家族で持病や生活力の低下で困っておられる方々が、気兼ねなく相談できる窓口として、ご利用頂きたいと思えます。場所は中心市街地複合ビル（旧大村浜屋）の二階にあり、お買物の帰りにでも寄って頂けると有り難いです。予約も費用も必要ありません。経験豊富なスタッフが対応させて頂きます。

また、地域での医療分野と介護分野の連携は、今後ますます重要になってきますが、同センターは大村市の地域包括支援センターと同じ場所（2階）に隣接しており、

こちらにおいて頂ければ、医療・介護に関する多種多様の相談に、対応させて頂くことが可能となりました。

① 退院支援・調整

がん患者、高齢者、小児や難病患者のよう医療機器使用等医療依存度の高い在宅生活への導入支援を行います。

② 在宅訓練室

同センターには、在宅生活をより安全に、安心して過ごして頂くための最新の福祉用具を備えた、仮想住宅がござります。これまで口頭での説明のみであった福祉用具について実際に体験して頂くことで、具体的なアドバイスが可能となります。

「がん教育」始めました

がん患者は年々増加し、今後も増え続けることが予想されます。

国立がん研究センターの推計（平成27年）によれば、親ががん患者である18歳未満の子供の総数は約9万人に上ります。親のがんは、その子供にとっても深刻な問題です。

がん患者やその家族も含めて誰もが

暮らしやすい社会をつくるためにも、がんについて正しく理解し、健康と命の大切さを学んでいくことが重要です。

そこで当医師会では、子供たちを対象に「がん教育」を始めました。小・中・高校の学校現場は勿論、こども会などでも開催を考えております。人数は問いません。費用も頂ぎません。

お気軽に在宅医療サポートセンターまでお問い合わせ下さい。



③ 24時間コールセンター

大村市医師会では、「大村市タウンホスピタル構想」を掲げております。大村市全体（タウン）を一つの病院（ホスピタル）と考え、急変時の患者様の連絡をサポートセンターに集約し、そこから、適切な医療に迅速につなげていくことができます。コールセンターでは、在宅療養中の方の病態悪化時に、日中は常勤の看護師が電話対応致しますが、休日や夜間も24時間365日、医師会の医師、または訪問看護師が電話対応させて頂きます。ただしコールセンターをご利用頂く方は登録制となっております。

登録患者様から連絡を受けましたら、事前登録された患者情報を元に病態のレベルに応じて、かかりつけ医に連絡、または緊急を要すると判断された場合は、救急隊の要請、及び搬送される基幹病院にも登録された患者情報を提供し、速やかに治療を開始できるよう支援いたします。

大村市タウンホスピタル構想 - 究極の地域完結型医療 -



<コールセンター登録の対象者>

- ・在宅（自宅・有料老人ホーム・グループホームなど）で生活されている方
- ・がんで療養をされている方
- ・在宅療養に不安がある方や、入退院を繰り返されている方
- ・要支援・要介護の方
- ・独居や老老世帯の方
- ・その他、主治医が必要と認めた方、など

※詳しくは、【在宅医療サポートセンター】にお尋ねください。

大村市本町458-2-2F ☎0957-20-7115

また登録をご検討の方は、かかりつけ医にご相談下さい。

大村看護高等専修学校の紹介

資格試験合格率 100%を更新中

ここ数年、社会人を経て、看護師の道を目指す生徒が増えています。

(勿論、中学校卒業以上の方なら、どなたでも大歓迎です。)今回は特に社会人の皆さまに同校の卒業生からの激励文を紹介します。

私は、大学を卒業後、一般企業に就職。結婚・出産を経て主婦業をしていましたが、憧れもあり、看護師になりたいと思う気持ちが強く、同校に進学しました。学力は大丈夫か、経済的な問題、子育てとの両立など、多くの不安もありましたが、入学後は、新しい知識を得る喜び、理解を深めることで達成感も得られ、不安は自然と軽減されました。又、先生方や実習先の指導者の熱心な指導で実習も無事乗り切ることができました。その結果、2年間の学びに自信を持って臨んだ資格試験に合格し、准看護師の免許を手に入れました。

授業のない時間帯は診療所で看護助手として働きました。これは看護の勉強にも反映され、漠然とした看護師のイメージが具体的なものになり、結果的に経済的な軽減と共に一石二鳥でした。診療所が大村市医師会に所属していることもあり、学業を疎かにすることなく柔軟に対応していただきました。

又、子育て・家庭の両立ですが、私は子供が1歳の時に入学したので日中は保育園や祖父母の協力もあり、学校には子育て中の人も多く、皆で子育ての情報交換をしながら授業を休むことなく卒業できました。こんな事は准看護学校でなくてはできないことですよ。実習の日以外、授業は半日が大半で自分の趣味を楽しむことも可能です。今、同じ医療の分野で頑張る同期の友人は良い刺激になっています。一生の宝物です。

昨今の超高齢社会で、看護師の活躍の場は病院のみに留まらず、施設・訪問看護等、多様なニーズに対応出来る質の高い看護が求められています。

准看護師資格取得後は看護師や保健師等、活躍の場を広げる事も可能です。私は今後、進学して緩和ケアの認定看護師になりたいと考えています。准看護学校の学びを通し准看資格を取ることで自分の可能性は広がります。

准看護師になりたい
社会人の皆様へ

おいでよ!!



大村看護高等専修学校平成29年度

入学試験案内

推薦入学試験

試験日 平成28年11月 5日(土)
{出願期間} 平成28年10月19日(水)
～平成28年11月 2日(水)
{合格発表} 平成28年11月11日(金)

前期入学試験

試験日 平成29年 1月14日(土)
{出願期間} 平成28年12月26日(月)
～平成29年 1月11日(水)
{合格発表} 平成29年 1月20日(金)

後期入学試験

試験日 平成29年 2月 4日(土)
{出願期間} 平成29年 1月25日(水)
～平成29年 2月 1日(水)
{合格発表} 平成29年 2月10日(金)

【受験資格】 高等学校入学資格を有する者 (中学校卒業以上の者)

【試験科目】 国語・数学・作文・面接・適応能力試験 (簡単な作業)・書類審査

※定員に満たない場合は、追加試験を実施します。

☎0957-52-6712

救急車は限りある資源です!

平成27年中の大村市での救急車の出場件数は、**3,459**件でした。10年前に比べると600件近く増加しています。この中には、酒酔いや打撲、切り傷などの症状で明らかに緊急性が低いと思われる救急要請も多く、また、病院までタクシー代わりに呼ぶなど不適切なケースも少なくありません。実際に救急車で病院へ搬送された方の約**36%**が入院の必要がない「軽症」と診断された患者さんでした。

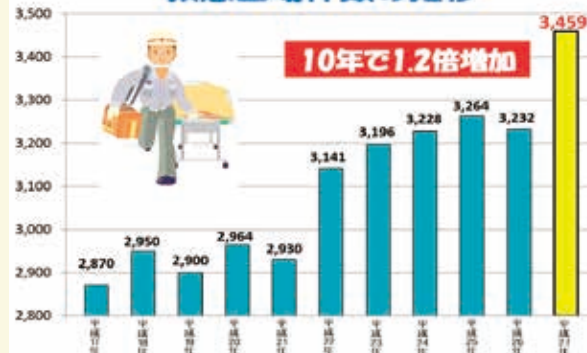
大村市には、3台の救急車しかありません。もし、出場が重なった場合は、遠くの消防署から現場に向かうため、本当に救急車を必要としている人への適切な救急処置等が遅れ、「救える命」が救えなくなる恐れがあります。

救急車を要請するときは、もう一度考えて、緊急性がなく、救急車以外に搬送手段がある場合には救急車の利用を避け、自家用車や患者搬送タクシーなどを利用してください。

また、体の調子がおかしいときには、症状が重くなる前に、早めに病院で診察を受けましょう。市民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

なお、事故の状況や急病の症状からみて緊急だと感じたら、迷わずすぐに119番通報して下さい。

救急出場件数の推移



こんな症状がみられたら、
ためらわずに119番に
通報して下さい!!

急性心筋梗塞の症状

・突然、胸の真ん中に生じる持続する強い痛み
・胸が締め付けられるような苦しさ

脳卒中の症状

・体の片側に力が入らなくなる
・言葉がうまく喋れなくなり、ろれつが回らない
・顔がゆがんだようになる

※他にも意識障害、呼吸困難、激しい頭痛などにも注意が必要です。

編集後記

編集委員 岡 浩之

今年の夏越まつりの総躍りに、「在宅ケアセミナー」(医療・介護職を中心とした多職種の研究會)と合同で、「繋がる。」をテーマに掲げ、初めて参加させて頂きました。大村市医師会、平成30年度中に中心市街地複合ビル(旧大村浜屋)へ医師会の移転を予定しており、街なかに移ることでこれまで以上に市民の皆様と近い存在でありたいと思います。

